



第五十六回関東甲信越静地区子ども会 育成研究協議会参加報告

副会長 風間 浩一

十月二十日(二十一日)に山梨県甲府市で行われた関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会山梨大会(以下関プロ)に参加いたしましたので私の感想を含め報告いたします。

スローガンは「つなげよう未来にやまなしから新たな出発!」を掲げ「持続可能な子ども会のあり方を考える」がキーワードでした。

大会行事として開会式及び表彰式が挙行されました。本県からは昨年度で県子連を退任された板垣徳衛事務局長が永年表彰を受けました。

また、基調講演にこども家庭庁ナンバー3の高橋宏治様による「こどもまなかなか社会の実現に向けて」と題するお話を伺いましたが、軽いタイトルとは裏腹に結構ハードな国家戦略である部分まで伺ったと思います。こども家庭庁自体が既存の省庁の垣根を取り払った部署であるため、その調整作業なかなかの感想をもちました。

本大会は過去の大会と形態を大きく変え、あえてディスカッション形式を取らずシンポジウム形式のどちらかと言え



でした。また、関プロは会員が全員参加できる表題の通り研究協議会なのですが、別に推進研究会というプロジェクトが並行して進行しています。一部の委員よりプロジェクトであることかなかなか今まで表に出ることのない部門でしたが、一部成果も出始めたことから本大会において発表をしていたのだと思います。

研究会は前年度の埼玉大会で討議された四つのテーマに沿った発表で

「世代を超えた子ども会活動」

「聞こえづもたちの声」

「未来に向けた子ども会広報」

「安全啓発」でした。各パネリストからテーマに沿って計画・実践し、時にはその不具合を修正した経過を報告していただきました。

特に「未来に向けた子ども会広報」

今後の予定

- 第二回 理事会
(長岡市中央公民館さいわいプラザ)
令和六年十二月一日(日)
- 関プロ会長・事務担当者会議
(国立オリンピック記念青少年総合センター)
令和七年一月十七日(金)
- 関プロ安全啓発中級指導者講習会
(国立オリンピック記念青少年総合センター)
令和七年一月十八日(土)～十九日(日)
- 第三回 理事会(新潟市東区プラザ)
令和七年三月二日(日)
- 県子連だより第一四六号発行
令和七年三月七日(金)
- 第三回ジュニア・リーダー及び指導者・育成者中級研修会
(長岡市中央公民館さいわいプラザ)
令和七年三月九日(日)

の報告は本県長岡市子連の実践事例の報告であったのですが、内容があまりに素晴らしく会場からどよめきが聞こえるようでしたし、報告後も実践経緯を問い合わせる接触があったようです。「海無し県の山梨に海を作ろうプロジェクト」など参加者を飽きさせない演出と大会キーワードを踏襲した一本筋のおもしろ構成の大会であったと思います。

二〇二四年度 全国子ども会ジュニア・リーダー研修会

柏崎市子連 高校二年 金田 陽咲

9月21日(土)～23日(月)

「共同と協働」

全国子ども会ジュニアリーダー研修会に参加させていただきました。関東甲信越静地区の研修会とは違い講義や自分の意見を言う場が多くありました。参加したジュニアリーダー全員が活動をもっとよりよくしたいと同じ気持ちだったのでグループワークや講義がすごく充実しました。

私は、全国リーダー研修会を通してジュニアリーダーのイベントや子ども会が子ども達の居場所になり、『時間・空間・仲間』を作る場所になったら良いと思います。

ですが全国ではジュニアリーダーの数が少ないところがいくつかあり、人数が少ないから活動に制限があったり、人数がいてもやる気には差があるのが現状です。実際新潟県のリーダーでも差があ



るのではないかと思います。まずはジュニアリーダーになりたいと思う人を増やす・リーダー内のやる気や意識を高めることが課題だと思います。なので私は、課題を達成するために大人の方と一緒に考えていきたいと思っています。

私達ジュニアリーダーは全国でもっと活発に活動し、子ども達といろんな経験を共有したいと思っています。私達だけではできないことも限られてしまいます。ぜひ私達の意見に耳を傾けていただき、より良い子ども会・ジュニアリーダーを一緒に創りませんか？

私の関ブロに参加した感想を一言で表すと「よく学びよく交流できた楽しい大会」です。

今回は二度目で、去年は県内でしたが、今年は県外だったこともあって緊張していました。ですが、活動が始まると長野のユースリーダーや班の高校生のお陰もあって、一日目の野外炊飯のときには緊張が解け、班の仲間と話したり協力したりできるようになっていました。その中で私はたくさんのお話を学びました。

特に大切に感じたことは、子ども会活動でレクリエーションをやるときには、対象の子ども達の年齢やシチュエーションに合わせて内容や難易度を工夫するという事です。それに気付いた活動が二日目の地図作成ゲームでした。班の仲間と協力して正解に近い地図をつくることはできましたが、とても難しかったです。時間が内に完成させることができませんでした。終了直後は「これすごく楽しい！今度は長岡の子ども達にもやらせてあげたい！」と思いました。ですが、活動後の振り返

りの中で、私達が難しいと感じたものが小学生にできるだろうかという意見が出ました。一方で、内容や難易度、制限時間を工夫すればできるという意見も出ました。私は柔軟な考えや、コミュニケーションの大切さも知ることができました。

今回の研修会では多くのことを経験しました。他県のジュニアリーダーとのつながりもできました。それらを大切にしてこれからの活動に生かしていきたいです。そしてまた来年の神奈川大会にも参加したいです。最後に三日間共に学んだ仲間達、長野県ユースリーダー、主催者の方々、その他関わってくださったすべての人に感謝します。ありがとうございました。



第五十一回関東甲信越静地区子ども会 ジュニア・リーダー研修会長野大会

長岡市子連 中学二年 石井 咲妃

8月17日(土)～19日(月)

第一回ジュニア・リーダー及び指導者・育成者中級研修会に参加して

妙高市ジュニア・リーダーズクラブ 中学三年 齊木 愛音

7月6日(土)～7日(日)

私は、今回、二回目の研修をうけました。そこでは、一回目で学んだこと以外でもたくさんのが学べました。

まず、ジュニアリーダーの心得、役割では、前回は、何も活動をしたことがないときに受けたのでピンとこないところが少しありましたが、自分が活動をして受けてみると、前回とは違った視点で講義を受けることができたし、自分が今まで悩んでいたことが解決したので良かったです。

また、楽器づくりでは、初めてパイプカッターを使ってパイプを切つて、鉄琴をつくることができました。ここでは、楽器のつくり方だけではなく、行事、イベントに参加す



る人達の年齢を見て、創作の難易度を変えるということも学びました。例えば、今回の鉄琴でいうと、小学校低学年が対象だったら、あらかじめパイプを切っておくなど、色々な工夫ができることを知りました。色々な学年の子とも達と活動するの

で学べて良かったです。そして、心肺蘇生法では、もし、目の前で人がたおれたら、と考えながら、しっかりと講義を受けることができました。そんなところに出会ってしまったら、自分から積極的に助けたいと思いました。今回学んだことを今後に生かして楽しい活動をつくりあげていきたいです。

第二回ジュニア・リーダー及び指導者・育成者中級研修会を終えて

長岡市子連 中学二年 山田 里奈

9月14日(土)～15日(日)

私は今回の中級研修で、さまざまな活動や体験を通して学んだことがあります。

一つ目は、プログラムの組み立てです。私は同じ班の人とキャンプファイヤーのプログラムを考えました。班のメンバーと出し物をどのような順番にするのが良いか話し合いました。その時に、激しく動く出し物は続けてやらす、間に激しい動きをしない物を入れ、緩急をつけることが良いことだとわかりました。緩急をつけることはキャンプファイヤーだけでなく、子ども会のレクなどの順番を決める時にも大切だと思いました。

二つ目は、危険予知トレーニングです。KYTでは班の人と一緒に野外炊飯中のイラストでどこが危険かその危険を回避するために何をすることが良いのか話し合いました。飯盒炊飯や野外活動では危険が多いので、ジュニアリーダーとして参加者や自分が怪我をしないように周りに気を付けて活動をしたいです。

また、今回は他地域のジュニアリーダーと一緒に活動だったので、キャンプファイヤーや空いた時間に行ったバスレクで、自分たちの市子



連でやってるやり方と他の市子連でのやり方が少しちがうところがあり、市子連によってそれぞれ工夫がされていて驚きました。今回の研修で学んだ多くのことを、これからの活動に生かしてよりよいリーダーになれるように頑張りたいと思います。二日間ありがとうございました。



新潟県教育委員会は「新新潟県教育の日」をより多くの県民の皆様を知っていただくために、公募によりロゴを作成しました。

【ロゴのコンセプト】
「日」の文字をお米の形にする事で、シンパルさの中に新潟らしさを表現しています。カラーの緑色は「安全」、「安定」などの好印象を与えるイメージにもなり、さらに親しみやすい印象を与えてくれます。



令和六年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会

長岡市子ども会連絡協議会

副会長 若井 仁資

令和六年六月三十日(日)、長岡市千手コミュニティにおいて、令和六年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会が開催されました。

県子連須田会長より挨拶を頂いた後、佐藤栄作県子連安全部長を講師に迎え講習会が始まりました。

私は今回初めてのこの講習会に参加させていただきました。私は製造業の会社に勤務しており、KYT教育も会社で受けた経験がありましたので、受講前には「今更学ぶべきことは少ないのでは」と思っていました。しかし、実際に講習を受けてみましたところ、守る対象が子どもであることから大人に対する指導方法とは違いがあることに気づかされました。例えば、子ども達への指示は5W1Hで具体的に言う事、子ども達に指示を出したら必ず報告してもらうことなどです。

毎年市内の子ども達と一緒にイベントやキャンプに行っています。今回得られた知識を実践に活かして安全で楽しい活動ができるように心掛けていこうと考えています。

◆講習内容◆

講習の目的
子ども会の諸活動において、子ども達の安全を守るため、指導者、育成者として必要な指導能力を身に付けること。

一、座学

- ① KYTとは
危険予知トレーニング
 - ② 安全とは
危険と事故を結びつけない
 - ③ 備えても事故は起きる
だから下見など準備は入念に！
 - ④ 子ども会がKYTを取り入れた経緯
津市四ツ葉子ども会事故
 - ⑤ 危険予知は危険を知ることからリスクとハザード
 - ⑥ 指差呼称・指差唱和・喚呼応答
確実な確認・見落とし防止
- 二、KYT体験学習
- ① KYT4ステップの説明
 - (1) 第1ステップ (現状把握)
 - (2) 第2ステップ (本質追及)
 - (3) 第3ステップ (対策立案)
 - (4) 第4ステップ (行動目標)
 - ② トレーニングシートを使ったグループ討議

子ども達の力を信じて

—黒条連合子ども会の活動を振り返る—

前県子連監事 花澤 政晴

私は単位子ども会で育成会の副会長として二年間活動しました。育成者が計画し、活動する典型的な子ども会活動でした。その後、長岡市子ども連合会に黒条地区の理事として三十数年前に入りました。市子連に入り活動する中で「子ども会活動は子ども達の手で」を育成者に対する研修会で毎年呼び掛けていました。黒条地区連合子ども会では夏休みに入ると全地区の子ども会への呼びかけで、朝六時半からラジオ体操の放送に合わせてラジオ体操を行っていました。それでラジオ体操会を発展させて、黒条地区でも子ども達と力を合わせて活動できないものか育成会の役員と相談してラジオ体操会の後に行事を行うことにしました。いきなり子ども達だけというわけにはいきませんので、最初は長岡市子連の指導の下、活動を始めました。市子連のリーダーズクラブが計画し、その指導の下ゲームを行いました。しかし、この状況に育成者から黒条の子ども達が主役でないのはおかしいと声が出て、子ども達で計画して事業を行うことになり数年後に黒条地区だけで行うことになりました。育成者と相談し、子ども達の役員を決

め、子ども達の話し合いの中で行事を決め、それぞれの役割を決め行事を行いました。最初は子ども達も戸惑い、役を持った子ども達は話し合いに加わりませんが、そうでない子ども達ははたで騒いでいました。その子ども達が一緒に活動するには、どうしたら参加してくれるか考えました。子ども達それぞれが役割を担っていることを理解してもらためには、リハーサルを行うことだと思い何度かリハーサルを行い、ようやく本番を迎えた事を覚えています。



上越地区

初めての年末お楽しみ会

上越市 柿崎区子ども会

五年 石原 みゆ

去年の十二月、私は初めて子ども会の年末お楽しみ会に参加しました。

近くの学校の子たちとかるた遊びやフルーツバスケット、だるまさんがころんだなどをして遊びました。

かるた遊びはチームに分かれて順番にやりました。カードを探して、見つけるのが大変でした。フルーツバスケットはみんなで円になって、真ん中に立った人がお題を言ってからみんなでいっせいに空いている席に向かっていくので、自分がするのが大変だったし、真ん中に立ってみんなの前でお題を言うのはとてもはずかしかったですけど、だんだん楽しくなってきました、最後は終わってしまつのが残念でした。だるまさんがころんだでは、みんなが走り回り歩いたりして、とても楽しかったです。

最後に好きなキャラクターのスクラッチアートをしました。黒い面の下にかくれた色



をけずって、絵柄を描きました。細かく線をかくので、むずかしいところもあったけど、完成したときは、とてもうれしかったです。

ゲームの進行や準備はジュニアリーダーさんとユースリーダーさんがしてくれました。ジュニアリーダーさんたちはみんな明るく話しかけてくれてゲームなども盛り上がったし、初めて会った子どもでも仲良く遊ぶことができました。

私は初めて子ども会の行事に参加するのでもんちようして心ぞうがドキドキしていたけれど、ジュニアリーダーさんたちのおかげで、年末お楽しみ会をまんきつすることができました。

ジュニアリーダーさんや他の学校の子たちと遊ぶことができ、とても楽しかったです。また子ども会に参加したいです。

中越地区

六年生最後の体験旅行

南魚沼市欠之上子ども会

六年 阿部このか

私たちの地域の子ども会では、この夏五十沢キャンプ場で、ニジマスのつかみ取りと、お米の調理をしました。

お米を、飯ごうと耐熱のポリ袋を使った。パックフッキングで炊きました。

やり方は、袋にお米一合を入れ、水を使ってもみ洗いしてから、水をよく切って炊く用の水を入れ、できるだけ空気を抜いて口をしぼりました。災害時に限られた水で食べる事ができるご飯を作る方法を学べたので良かったです。

飯ごうは、パックフッキングより水を少し多く入れました。私はどうして飯ごうの方が水を多く入れるのか疑問に思いましたが、飯ごうを火にかけるのを見て、水が吹きこぼれるのでその分、多くするのだと気が付きました。

お米を炊いている間、ニジマスのつかみ取りをしました。暑い中、水に入ったらとても冷たくて気持ち良く、すぐに涼しくなりました。ニジマスは泳ぎが速く、つかまえるのが難しかったので、岩のすき間に入っていたニジマスを、友達と協力してつかまえました。



た。がんばって、人数分の三十七匹のニジマスをみんなでつかまえる事が出来ました。

自分達でつかまえたニジマスの塩焼きと、調理したご飯で、お昼ご飯を食べました。私はパックフッキングで炊いたご飯の方が、モチモチしていてやわらかく好みました。家で食べるご飯よりもおいしく感じて、いつもよりたくさん食べました。

コロナの影きようで、地域の子どもが集まって活動する事があまりなかったのでもとても楽しく、六年生最後の体験旅行が良い思い出になりました。

佐渡地区

子ども達の
体験・体感の場として

佐渡市椿尾子ども会

代表 金子 明弘

私達の地区は過疎地にあり、二世帯子ども五名から成る小さな子ども会です。地区に同学年の子どもはおらず、日頃子ども達や子育て世代の親の交流が難しい中、貴重な交流の場となっています。

活動は子ども達の休みに合わせ、もっぱら夏休み期間中の活動が中心となっています。今の子ども達はゲームやYouTube等、遊びはインドアが中心なので、子ども達が体を動かすことを大切にしています。真野地区の集いといった地域主催のスポーツイベントに子ども会として参加してはいますが、今年は「体を動かしてスポーツがしたい」とのことで親子旅行は新潟のスポーツイベント施設へ行ってきました。普段は携帯ゲームばかりしている子ども達もサッカーの的あてやバスケットボールのフリースローを楽しんでいました。

また、自分達の住む地区や自然のことも知ってもらうことも大切にしていきます。毎年メダカを育てている地区の方から分けて頂き、

観察した後子ども達のため池に放流していますが、今年は椿尾海岸で海岸探検も実施しました。岩場の水たまりに残された魚や波打ち

際の貝やカニを目ざとく見つけ、スマホで検索して名前を調べました。ただ、漂着ゴミの多さにビツクリ。生き物観察のつもりがゴミ観察となりました。子ども達と数えてみると漁具やペットボトル等のプラスチックゴミが多く、粉々になったプラスチック片も大量に漂着しています。「マイクロプラ

スチックだよ。ゴミをきちんと捨てないから海に出て魚が食べるんだ。YouTubeでも捨てたものではないと感心した次第です。

私達の子ども会は現状のままでは存続が難しい状況ですが、転入してきた若い世帯に子どもが生まれるなどの好機もあります。他地区の子ども会との活動共催や合併も視野に入れながら、子ども達の貴重な場を絶やさないようにしたいと思っています。

うと思



下越地区

楽しかった夏祭り

胎内市乙子ども会

三年 川崎 百叶

去年まで、ずっとコロナでできなかったおみこしをすることができました。今年は台風がきていてできるか心配だったけど、できてよかったです。わたしは今年で二回目のさんかです。お母さんとお兄ちゃん二人と、乙には住んでいないお友だちとさんかしました。

おみこしでは、夏休み中に会えないなかつたお友だちにもたくさん会えてうれしかったです。おみこしは、長いロープを引っ張りました。重い時もあつたけど、みこしれの大人とほいくえんの子どもと小学生のみんなで、力を合わせて引っ張りました。

「わっしょい、わっしょい」大人も子どもも大きな声で祭りを盛りあげました。地いきの人も



もりあげてくれて、とてもうれしかったです。この日はとてもむし暑くてたいへんだつたけど、休けいをとりにながらがんばりました。休けいの中に飲む麦茶がとってもおいしかったです。さい後におかしのプレゼントもあつて、家に帰ってからお兄ちゃんたちと食べました。

今年の祭りには屋台もきていて、お母さんをお願いしてポップやきを買ってもらいました。祭りの時に食べるポップやきがわたしは大好きです。今年の祭りもとても楽しかったです。来年もまたさんかしたいです。

編集後記

○今年の夏は、七月のJL(ジュニア・リーグ) 中級研修会を皮切りに八月、関ブロJL研修会長野大会、九月、寺泊での第二回JL中級研修会、全国JL研修会が開催されました。

毎回約十名のJLが参加しました。コースリーダーのサポートもあり、充実した活動・交流ができました。今回は体験を通して得た学びをJLに寄せてもらいました。ぜひお読みください。

○原稿をお寄せいただきました皆様に心から御礼申し上げます。(文責：事務局 佐藤裕)

【編集発行】

一般社団法人新潟県子ども会育成連合会
〒九五一八二二三
新潟市中央区白山浦一三〇〇
電話 〇二五二三〇五二九八
FAX 〇二五二三〇五二九二